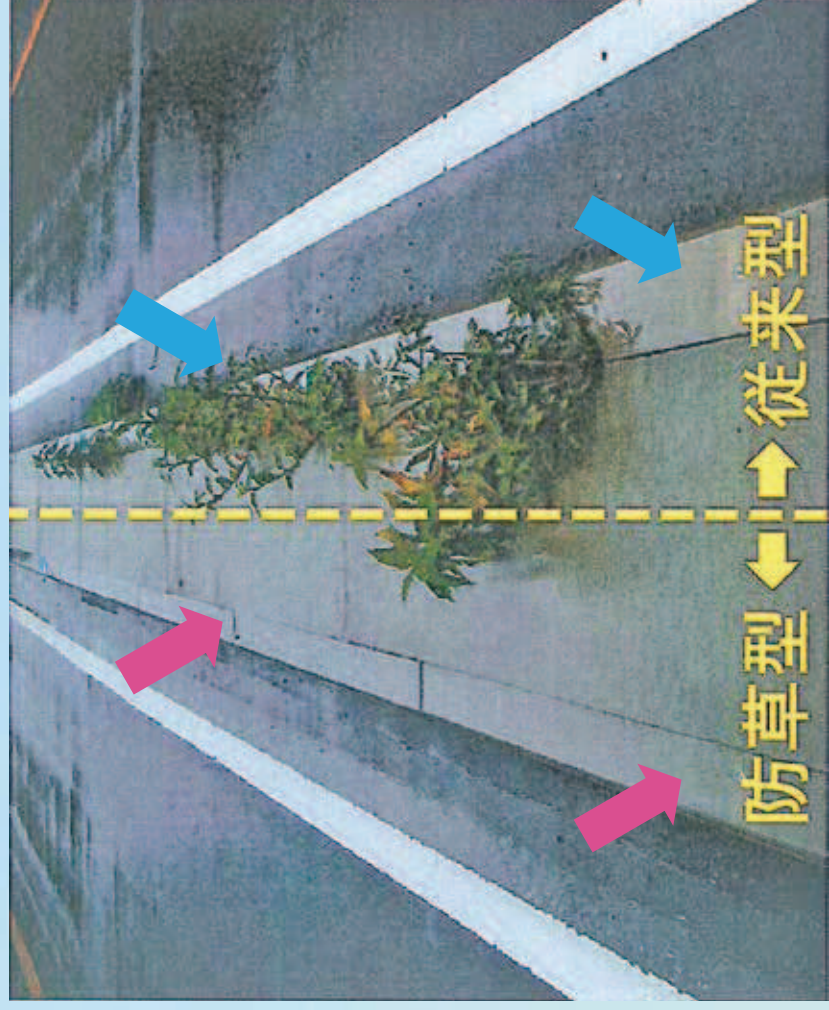


追跡調査結果



左側：「雑草防止工法」により施工
※雑草が全く生えていません。

施工後1年経過



施工後8ヶ月経過

右側：通常のブロックで施工
※肌別れて雑草が繁茂しています。

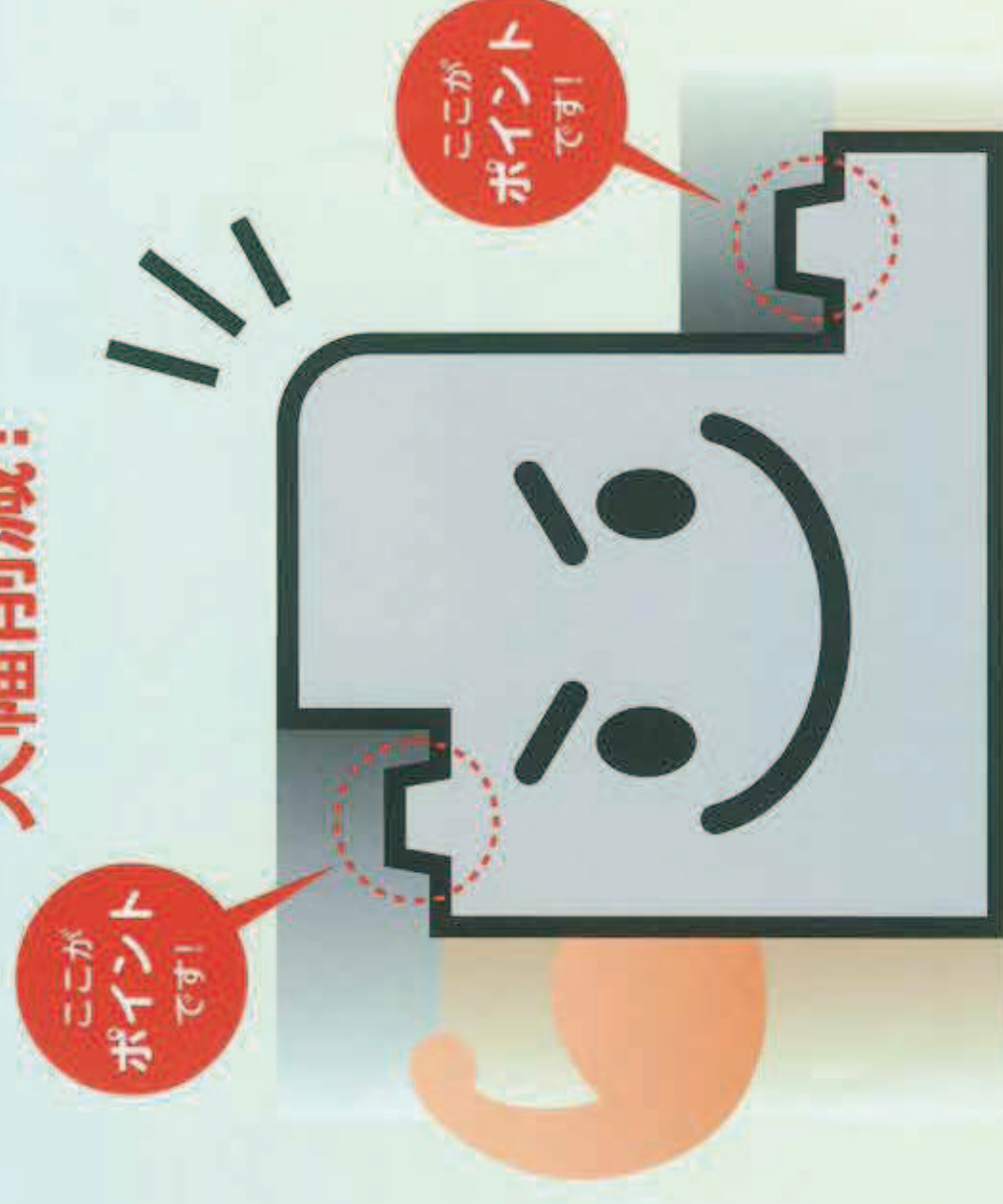
セキヤの環境製品
NETIS 登録製品
登録No. KT-160069-A

ENVIRONMENTAL GOODS BY SEKIYA

雑草防止工法 防草型境界ブロック

二次製品の周囲に繁茂する雑草の成長を強力に阻止します！

除草作業等の維持管理費の
大幅削減！



営業本部・工場 山口県防府市大字江泊2544-1
TEL (0835) 38-0121
FAX (0835) 38-0694

セキヤヒューム株式会社

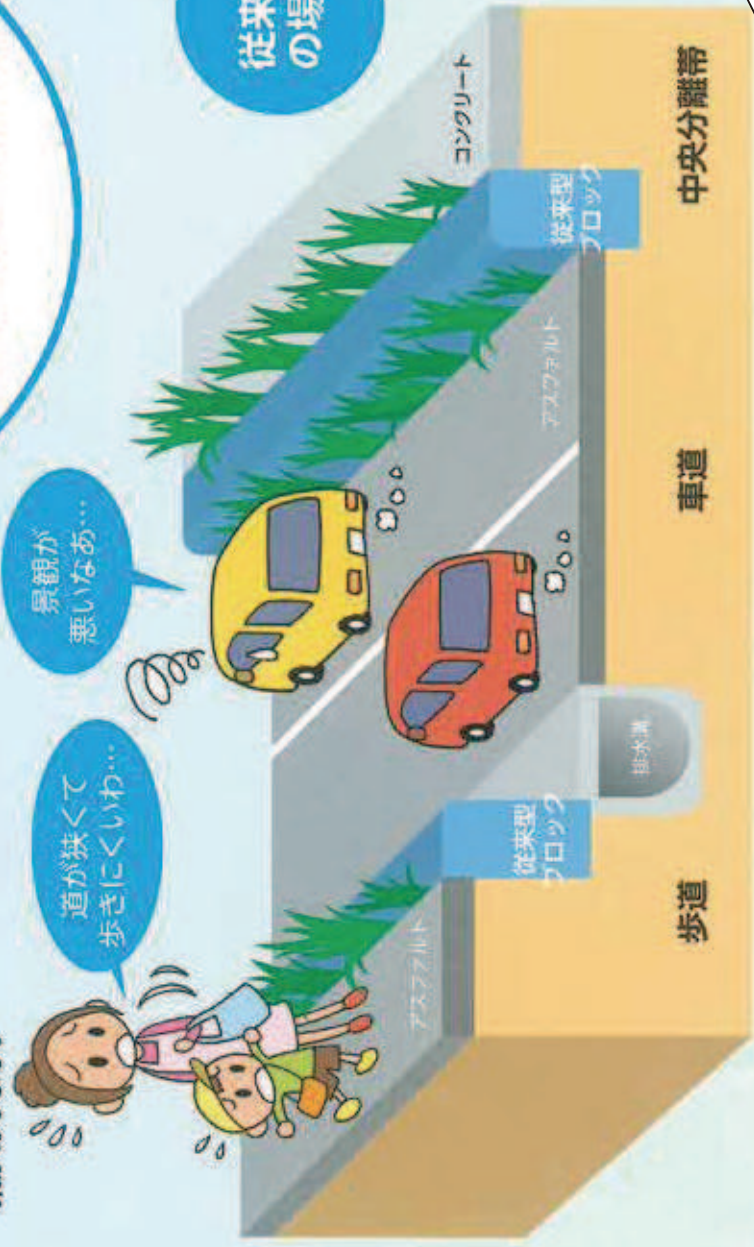
本社・広島(岩) 広島市西区中広町2-28-6 三好ビル2F
TEL (082) 293-8101
FAX (082) 294-3185

雑草防止工法の特徴

- NETIS 登録はすでに10年間掲載済みです。
- 雑草をなくすことで、景観が良くなり、道路環境の改善になります。
- 維持管理に要する草刈り費用を削減できます。
- 施工性は従来と同じです。特に舗装材の新設施工や撤去工事等も従来と同じ要領で行えます。
- 歩車道境界ブロックのJIS形状をそのまま確保しているため、車の衝撃荷重に対しても強いうえ、下幅が広いので安定性が向上します。
- 雑草防止工法の突起は、植物の成長を確実に止める効果があります。また、舗装材が突起としっかりかみ合うため、舗装材がひび割れたり、ずれたりしない効果があります。



従来品の場合



雑草防止工法の構造

「雑草防止工法」は製品の一部をカット、または張り出させてその水平部の中央に突起を設けた構造となっておりその効果は次の3つです。

- ① コンクリート二次製品とアスファルトがかみ合い、隙間を作らないので雑草は生えにくくなります。
- ② アスファルト下から雑草がコンクリート面とアスファルト面の間を伸びるとしても突起部があり、その伸長を許さない構造になっています。
- ③ コンクリートとアスファルト部分に種が入って成長しかけたとしても下の乾燥したコンクリートによって根が成長することができません。



雑草防止工法製品の場合



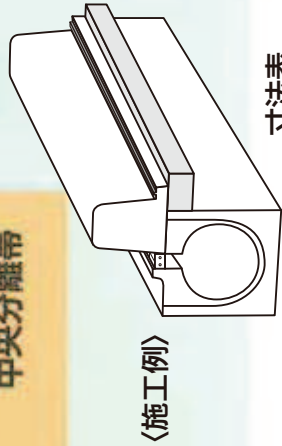
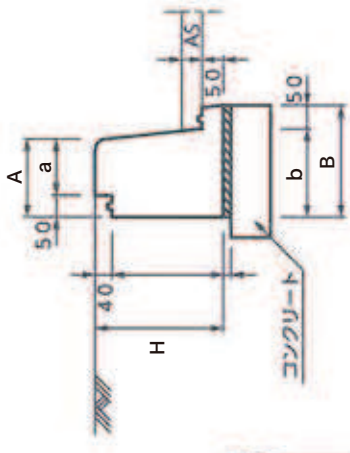
これまで主に歩車道境界ブロックについて説明していますが、当然「開渠」、「開渠」、勾配可変側溝等の側溝類にも応用できます。また、鉄筋コンクリートL型やその他のアスファルトやコンクリートと接続する部分にも応用できます。

防草型境界ブロック

片面タイプ 両面タイプ (片防草) 両面タイプ (両防草)



両面Cタイプ (中央分離帯)



〈施工例〉

寸法表

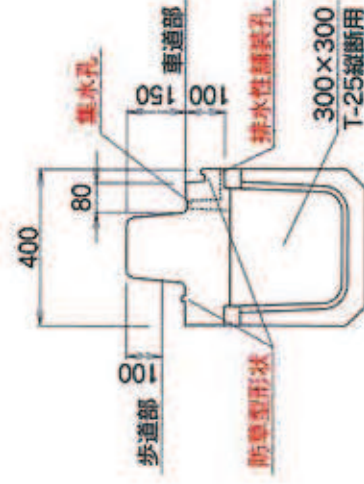
種別	H	A	a	B	b	L
片面タイプ	200	150	100	170		600
	250	180	130	205		1000
	300	180	130	210		2000
両面タイプ 片防草	200	150		240	190	
	250	180		280	230	2000
	300	180		290	240	
両面タイプ 両防草	250	180		330	230	2000
	300	180		340	240	

防草タイプの山口県型境界ブロック及び基礎ブロックもあります。

排水型歩車道境界ブロック

登録No. QS-150040-A

〈断面図〉



上ぶた式U形側溝300にも適合します。